# 2024年 ふくやま書道美術館催物案内

3月

常設展示室・展示室

冬の所蔵品展Ⅱ

日曜

3 | 日

金

月

5 火

6 水

木

8 金

9 ±

10 日

月

13 水

14 木

15 金

16 土

12 火

17 日 18 月

20

19 火

水

21 木

金

23 土

24 日

26 火

水

木

29 金

30 ±

28

31

し みず ひ あん

# 「清水比庵 ―楽しさと優しさ」

会期:2024年2月17日(土)~3月31日(日)

休館日:月曜休館

会 場:常設展示室・展示室



清水比庵《良寛》1961年



清水比庵《富士》1974年

## 清水比庵と展覧会内容

岡山県高梁市出身の清水比庵(1883~1975)は京都帝国大学(現在の京都大学)の法律学科を卒業し、司法官として神戸地方裁判所に勤めたのち、銀行員として東京や秋田、青森、大阪など日本各地で勤務しました。1930年には懇願されて栃木県日光町長に就任し、余暇のなかで短歌を通して人々と交流する傍ら、短歌を発表したことで注目を浴びます。歌・書・画を通し彼と交流した人物に、日本画家の川合玉堂(1873~1957)や洋画家の小林和作(1888~1974)、書家の桑田笹舟(1900~1989)らがあげられます。なかでも桑田笹舟は書道界においていち早く比庵芸術に注目し世に広めました。作品制作においても、比庵の歌を積極的に採用し、ふくやま書道美術館にも比庵の歌を書いた作品が伝わっています。

本展では、生誕140年を迎えた清水比庵の作品約20点に加え、比庵の歌を書いた桑田 笹舟や桑田三舟(1927~2011)、中室水穂(1935~2005)の作品を紹介します。

# ちょこっと知ろう!比応さんのこと

今回の展覧会で特集する清水比庵(1883-1975)。実は元々、銀行マン&サラリーマンなんですよ!親しみをもって「比庵さん」と呼ばせてもらいますね!

いろんな経歴を持つ比庵さんですが…書家か?と言われれば書家ではなく。画家か?と言われれば画家でもなく。歌人かと言われればそれだけでもなく。詩書画家ですか!?と言われれば、「はい!そうです!」と言うことができる、芸術に親しみ、大いに楽しんだ人物です。当館の収集軸となる、福山ゆかりの書家(桑田笹舟・桑田三舟ら)も比庵さんと交友がありました。そして彼らは、比庵さんの歌を好み、頻繁に用いて書作品を制作しています。 比庵さんの歌は、森羅万象、地球上の生命に対する喜びを詠うものが多く、広く透き通るような世界観が特徴です。そんな歌にぴったりの、画面いっぱいに筆をいきわたらせるような給と、明快で晴れ晴れとした色彩も比庵作品の魅力です。 憖いもなく、ただありのままの姿で美しいものを受け取る比庵さん。彼の作品からはとってもポジティブなエネルギーを感じることができますよ!

比庵さんは、人生の辛酸なんて言葉にしません! 楽しさと優しさにあふれています♪ まさに「比庵晴れ!!」 書道美術館まで日向ぼっこ気分を味わいに来てくださいね☆

### 所蔵品展観覧料

 一般
 150円(120円)

 高校生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

## 次の方は観覧料が無料です

- ■社会福祉施設に入所されている方
- ■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方 (運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要)
- ■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、 及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。

※月曜日【

の日】は休館日です。

### また。 またいでは またいで またいで またいで またいで

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号 JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m Tel 084-925-9222

Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp